

エビデンスに基づいて保護者と取り組む発達障害児の  
早期療育モデル全国実装PJ最終報告シンポジウム

# 実践に基づくエビデンスでつながる 発達障害の早期支援エコシステムの構築

日時  
会場

2019年12月1日（日） 9:30-17:30

慶應義塾大学三田キャンパス西校舎ホール

参加費無料

第1部 9:30～ 基調講演&パネルディスカッション



プロジェクト最終成果報告

「実践に基づくエビデンスでつながる一発達障害の早期支援  
エコシステム構築へ向けて」熊 仁美 NPO法人ADDS共同代表/実装PJ責任者



招待講演

神尾 陽子 先生

お茶の水女子大学人間発達教育科学研究所客員教授一般社団法人  
発達障害専門センター 代表理事



総括講演

「公認心理師時代のシングルケースデザインに  
よる発達支援～親子に届けるための第一歩から展望まで～」  
山本淳一先生 慶應義塾大学文学部心理学専攻教授

公開パネルディス  
カッション  
実践に基づくエビ  
デンスをどう生かすか  
-次世代のエビデンスの  
ありかたとは-

第2部 13:15～ 事例研究ランチセッション

13:15-13:55 ランチセッション(A)

「困った場面における情報要求言語の自発を促す支援」山本優花先生(ままとこテラス:熊本)

「AI-PACの課題データ解析に基づく発達支援への示唆(仮)」

黒田 由加 さん(三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社)

13:30-14:15 ランチセッション(B)

「トークンシステム導入を通じた見通し理解の支援」道盛 美穂 先生(ゆーかりの森:兵庫)

「イラストを活用したひらがな理解の支援」梅宮 黎紀 先生(放課後デイサービスミライエ)

「自閉スペクトラム症児の会話レパトリー拡大における情報交換型会話及び情報要求課題  
の効果」早良 さつき 先生(児童発達支援マルシェ)

第3部 14:30～ 地域実践報告・パネルディスカッション

子供たちにエビデンスに基づいた教育を

～とくしま支援モデルの取組み～

徳島県教育委員会特別支援教育課 大久保 秀昭 指導主事

横須賀における家族・支援者・地域の強みを

引き出す・育む地域支援環境づくり

児童発達支援トータスキッズ/NPO法人ファミリア 高橋 嘉誉 理事長

親子への実践が地域へもたらしたもの - 3年間の実装を振り返って -

ぶりんぐあっぷちば子ども発達支援センター長 小山 恵美子先生



最終パネルディスカッション

「発達障害の早期支援エコシステムの構築に向けて～地域政策の視点から～」

野崎 晃広 教授 四国学院大学社会福祉学部教授

大澤 樹里 センター長 江戸川区福祉部発達障害相談センター

安藤 康一 先生 児童発達支援センター ゆーかりの森、あんどう子どもクリニック

モデレーター: 竹内 弓乃 特定非営利活動法人ADDS共同代表



EBP早期療育研究会

ポスター発表ブース

療育支援についての事例発表  
や事業所紹介を行います。



体験ブース

- ・ロボット/VR研修
- ・療育支援システムAI-PAC
- ・発達障害体験





# エビデンスに基づいて保護者とともに行う 発達障害児の早期療育モデル実装プロジェクト

28年度科学技術振興機構研究開発成果実装支援プログラムに採択された  
応用行動分析（Applied Behavior Analysis; ABA）を軸とした親子エン  
パワメント型早期療育モデルを全国の地域に実装するプロジェクトです。

## 療育支援システムAI-PAC

NPO法人ADDSと慶應義塾大学が共同開発したエビデンスに基づく包括的な早期療育支援システムです。

- ▶ 学習基盤・コミュニケーション・視覚/運動・社会スキル・アカデミックの5領域600を超える発達課題
- ▶ 子どもに合わせたターゲット設定
- ▶ タブレットでの記録とデータ化
- ▶ 記録用紙作成や支援効果の蓄積、教材やモデル動画閲覧

## 親子エンパワメント型療育モデル 「べあすく」



AI-PACに基づくお子さんへの通所型個別療育を軸に、保護者が同時並行で支援知識や実践スキルを学び、お子さんのよき支援者となることをめざすプログラムです。療育体験やe-learningを活用して支援を行います。

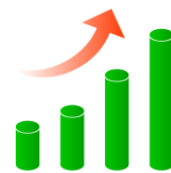
「べあすく」における  
保護者の療育体験



実装  
支援

## これまでの成果

親子エンパワメント型療育「べあすく」を約300家庭に提供した結果、子どもの発達指数や言語、コミュニケーション、保護者の療育スキルや知識にポジティブな変化が示されました。



## 全国の療育機関へ

横浜市南部地域療育センター、ぶりんぐあっぷちば子ども発達センター、児童発達支援センターゆーかりの森(兵庫)、徳島県教育委員会をはじめ、関東、香川、熊本など全国の公/民の療育機関へ実装を行ってきました。



## 会場にNAO君がやってくる！

ADDSと獨協医科大学が連携して取り組む「発達障害児に対する早期療育のためのロボットとVRを活用した人材育成プログラムの開発事業」体験ブースを設けます  
\* 第48回三菱財団社会福祉事業ならびに研究助成の支援を受けています



## 主催団体

特定非営利活動法人法人ADDS

所在地: 〒167-0051 東京都杉並区荻窪5丁目16-14  
カパビル5F

Mail: [advanced@adds.or.jp](mailto:advanced@adds.or.jp)

代表者: 竹内弓乃・熊仁美

事業概要: 児童発達支援事業・人材育成事業・研究開発事業・普及啓発事業

## プロジェクト実装責任者

熊 仁美

NPO法人ADDS共同代表

慶應義塾大学社会学研究科訪問研究員・博士(心理学)

慶應義塾大学大学院心理学専攻博士課程修了。保護者が家庭で実践できる療育プログラムの研究開発と効果検証を進め、28年度科学技術振興機構研究開発成果実装支援プログラムに最年少で採択。「エビデンスに基づいて保護者とともに取り組む発達障害児の早期療育モデル」の責任者として全国で療育モデルの実装に取り組む。

**お申し込み〆切: 11月28日(木) \* 定員に達し次第締切**

お申込みは以下のURLにアクセスいただくか、QRコードを読み込んでフォームにアクセスしてください。

お申し込み先: <https://forms.gle/r9sog2JYK9CPrKRc7>



\* ランチセッションは事務局で振り分け、当日チケットを配布いたします。  
ご希望に添えない場合も変更は承れませんので、予めご了承ください。